



那須教育事務所ふれあい学習課
〒324-0056 栃木県大田原市中央 1-9-9
Tel: 0287 (23) 2177 FAX: 0287 (23) 2193
Mail: nasu-kyouiku@pref.tochigi.lg.jp

Vol. 39 平成27年11月

学校力を生かす

日ごとに寒気が加わる季節となりましたが、体調など崩されていませんか。インフルエンザの罹患者も少しずつ出てきているようです。どうぞ御自愛ください。

さて、11月中旬になり、各中学校では文化祭も終了したかと思えます。各小学校での学習発表会はこれからでしょうか。今号では、地域とともに文化祭を実施している大田原市立若草中学校の取組を紹介します。

若草中学校では、地区公民館で開催していた大田原東地区文化祭と若中祭を2年前から、若草中を会場に合同で開催しています。これは、どちらの文化祭も集客率が落ちていた現状から、学校側の地域への働き掛けにより、スタートしました。合同文化祭実行委員会（学校職員、生涯学習推進協議会、各自治公民館長、地区公民館長）を立ち上げ、7月から準備を進めていました。

当日、展示の部では、若中生の作品だけでなく、地域（東地区公民館サークル、市民講座受講生、高齢者施設等）の方や、大田原小児童の作品も飾られました。発表の部では、学校からは合唱コンクールや意見発表等、地域からは笑いヨガの発表がありました。また、地域の方が体験コーナーを設け、トールペイントや多色木版画の刷り体験も行われました。生涯学習推進協議会からは、豚汁の提供もあり、文化祭を盛り上げていました。

今年3回目を迎える合同文化祭は、地域連携教員の山口剛史教諭が中心となり、新しい企画が加わりました。それは、文化祭の最後に地域の方と一緒に歌う「全体合唱」です。地域の方にも、自

分たちの文化祭という意識をもって参加してほしいという思いから企画されました。この合唱は、単に当日一緒に歌うというのではありません。事前に、合唱団員を募集して、夜間に3回練習会をもち、本番に臨みました。練習会には、保護者、地域住民、大田原小児童、若中の教職員等が参加しました。指導に当たるのは、音楽科担当の福田教諭と本澤教諭です。発声練習から始まり、パートごとに別れて音を取り、発声の仕方



や音程等の指導を受けます。「素晴らしい！」「さすがですね～！」という指導者の巧みな言葉掛けにのせられ、参加者はより真剣に練習に取り組みました。最後に、全体で合わせ、曲想を付けていきます。練習の回を増すごとに、当日への参加意欲を高めていきました。



本番では、地域合唱団がステージに上がり、福田教諭の指揮により「花は咲く」、人見校長の指揮により「ふるさと」を生徒と合唱し、会場が大いに盛り上がったそうです。合唱団として参加した地域住民からは、「達成感があり、よかった。」という声が寄せられ、素晴らしい企画となりました。「音楽を指導する力」「人を集める力」学校には様々な力があります。地域連携の視点は、学校を支援してもらうだけではありません。「学校のもっている力を地域に生かす」この視点も忘れずに連携を進めていくことは大切で、連携を充実させるための一助となります。

社会教育主事の紹介

氏名：室井 央晃 先生
勤務先：なす高原自然の家
職名：社会教育主事



メッセージ：4月にウィンディなすに赴任して、「まゆみ」や「みずき」に出会いました。もちろん、これは植物の名前です。

現在は、ブロック状に雪を固めてかまくらを作る「レンガ風かまくら」や雪の中で容器を転がしてアイスクリームを作る「スノーアイス」を計画中です。ますます楽しい「ウィンディなす」をどうぞよろしくお願ひします。

